

## 11月 定例山行 十種峰 (988.8m)

山口県阿東町・島根県津和野町

11月22日(日) ☆天気 曇りのち雨

参加者20人 CL 小林愷子 SL 利田昭雄

佐々木・滝・三浦・原田・三村・宮木(一)・宮木(澄)・竹野・成廣  
福田・田辺・円山・花岡・秋信・西本・坂井・田所・山本(会友)

コースタイム

県庁北口 7:30→10:20 登山口 10:30→12:10 頂上 12:15 発→12:25 昼食 13:00  
→14:00 野外活動センターに下山 17:00 県庁帰着 解散

### 報告

ちょっと不安な空模様にも雨具のチェックを再確認して家を出た。広島を後にしたバスは、途中、中筋、宮島 SA で数名の方を乗せて山陽道を西へ走る。下松 SA でトイレ休憩をして、徳山東 IC 経由、国道 315 号線を北上する。長いアプローチを順調に走って予定時刻に現地に着いた。

今回は初めての「神角コース」を登ることにした。いきなりイノシゲートの金網を通過、ここから登山道が始まった。左に堰堤を見ながらヒノキの植林地帯をひたすら登る。やがて林道と交差するところ到着。ここから仰ぐ晩秋色の十種峰の全容が

美しい。再び道標をひろいながら足を運べば、やがて権現社の鳥居に出会う。このあたりから植生も変わり、チマキザサの群落となるが、道はきちんと整備されていて歩きやすい。最後の急登の手前に分岐がある。ここではコースを右にとり、足幅に合わない急な階段を登る。「ボケるまでは認知症にならない」という、わけのわからぬ名水を横目でみながら、苦しい急坂を越えた。「やったー！着いたゾ、十種峰」時計は 12 時を少し過ぎていた。展望においては一級品といえる頂上もきょうは曇っていて風が冷たい。少し下りて、風を避けて昼食にした。

野外活動センターへの下りは、スキー場を一気に駆け下りた。

昔あった筈の下山道が見当たらず納得できないが、スキー場の開発で、林道ができて変わってしまったのだろうか。自然の変貌と月日の経過は少し寂しい。

(記 小林愷子)

